



令和4年8月29日発行

立山町教育センターだより 号外12

立山町教育センター 〒930-0221 立山町前沢 3318 TEL: 463-4407 FAX: 463-6622 URL: <http://www.tateyama-c.tym.ed.jp>

立山町も舟橋村も第2学期が始まりました。2学期は教師と子供の息が合った充実した教育活動を推進できる時です。学力の定着・向上、よりよい人間関係づくり、たくましい心とからだの育成に精一杯の工夫と努力を重ねていきましょう。

夏の教育講演会 I・II

R4. 7. 25 R4. 8. 25

新型コロナウイルス感染症の拡大で実施方法を変更して開催しましたが、立山区域全教員が教育講演会に参加しました。ICT教育の推進に関して富山大学長谷川春生先生から、特別支援教育の在り方について臨床心理士宝田幸嗣先生から、多くのことを学び、実り多き研修会になりました。学んだことを2学期の教育に是非、活かしてください。

教育講演会 I

ICT教育の実践事例をたくさん紹介していただきました。また、参考事例や先進的な取組や文献等の見つけ方、ICTを活用する意義を分かりやすく説明していただきました。後半は参加者がジャムボードを実際に動かしながら、効果的な活用の仕方を体感しました。

自分の想像していた以上に様々な実践が多方面において行われていることに驚いた。生徒会活動等、広く生徒に参加してほしい活動では特にその可能性を感じられた。指導に活かすには、自身の理解をより深めることがまず必要になるので、今後も研鑽していきたい。
(中学校の先生の振り返りより)

教育講演会 II

「気になる行動が生じやすい4つの場面」において、子供が示す「気になる行動のメッセージ」の意味を解釈し、どのように指導を工夫するかについて具体的に教えていただきました。配付していただいた資料を大切にしていきたいと思います。

気になる子供に対して、「どうしたらよいか」と対処ばかりを考えるのではなく、その子供の背景を探り、「なぜ、そのような行動を取るのか」と考えることが大切であることを学んだ。個別のワークでは人によって思い描いている子供が違い、その子供に応じて対応策があることが面白いと思った。まさにその子供の背景を考え、実態に即した手立てを考えているのだと思った。2学期がまもなく始まるが目の前の子供に向き合い、子供の思いに寄り添っていききたいと思う。
(小学校の先生の振り返りより)

